

平成23年度事業報告書

特定非営利活動法人東北みち会議

1 事業の成果

設立当初、街道という地域資源による、東北の地域振興を目的に設立された組織が、活動の進展や社会や地域が求めているニーズに合わせ、さらに構成員が実現したい活動を実践できる組織を目指し、試行錯誤する1年でもあった。

法人設立から6期目を迎え、次の5年に向けての転換期でもあったと考える。

持続可能な基盤という点ではまだ模索中でもあるが、環境面では向上してきていると考える。

年度目標に掲げた3点については、下記の通りである。

(1) 持続可能な事業基盤の構築

1) 「道の駅」関連業務では、事業化には至らなかったものの、震災以降の取り組みにより道の駅との連携が非常に深まった。また道の駅の新たな役割の可能性を見出すことができた。

2) 人材育成事業では、求職者を対象とした研修事業を実施し、当法人として長期間の研修運営ノウハウや講師、受講生とのネットワークが構築できた。

(2) 「道の駅」を通じた災害復興支援業務

従来から地域産業の拠点である「道の駅」を通じて産業復興支援にも取り組み、成果を挙げることができた。また、防災や被災者の生活支援の分野にも道の駅を通じて取り組んだ。

さらに連携企業や各種ネットワークが広がり、次年度への可能性も広がった。

(3) 組織の環境整備（組織の運用ルールの整備、処遇の改善）

稟議規程の制定、見直しを行った。また執行理事の業務担当制とし、迅速な事業展開を目指した。

2 事業に関する事項

平成23年4月1日～平成24年3月31日

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
みちを活用した地域活性化の実践と支援事業	街道を活用した地域活性化ならびに活動団体の支援	平成23年4月～平成24年3月	東北全域	3人	東北の街道・地域づくり団体・参加者 360人	90
	東北「道の駅」連絡会事務局業務の実施	平成23年4月～平成24年3月	東北全域の道の駅	7人	東北「道の駅」、スタンプラリー参加者 32,040人	14,941
	地域人材育成の実施（緊急人材育成・就職支援事業によるIT,社会的事業研修）	平成23年4月～平成24年3月	仙台市内（東北みち会議研修室）	7人	宮城県内の求職者 216人	16,448
	「道の駅」を通じた東日本大震災復興支援事業（中央共同募金会、財団法人JKA、日本財団、日立製作所）	平成23年4月～平成24年3月	東北全域 東北道の駅	6人	東北全域、道の駅周辺の被災者 3,285人	16,618
みちに関する調査研究ならびに政策提言事業	「道の駅」震災関連調査協力（多摩大学、徳山高等専門学校、東北地方整備局）	平成23年7月～平成24年3月	東北道の駅	3人	東北道の駅、復興計画関係者 380人	4,501
その他この法人の目的を達成するために必要な事業	情報発信力の強化（ホームページの充実化、活動情報の発信）	平成23年4月～平成24年3月	仙台市内	2人	ホームページ閲覧者 317,867人	0